



情報教育研究会 2008.12.12

オープンコースウェアの現状

日本および世界

福原 美三
y-fuku@dmc.keio.ac.jp

日本オープンコースウェア・コンソーシアム 代表幹事
Director, Opencourseware Consortium



1

本セッションのプログラム

時間	組織	発表者(敬称略)
13:30 - 14:00	JOCW	福原美三
14:00 - 14:15	九州大学	藤村直美
14:15 - 14:30	慶應義塾大学	福原美三
14:30 - 14:45	東京工業大学	馬越庸恭
14:45 - 15:00	東京大学	山本恵美
15:00 - 15:15	北海道大学	合川正幸
15:15 - 15:30	早稲田大学	大西正泰

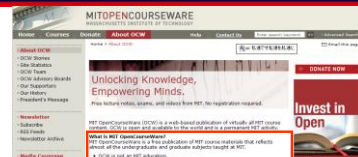


オープンコースウェア (OCW) とは？

- MIT (米国、Massachusetts Institute of Technology) が2001年に開始した、「大学の正規に提供された講義情報のインターネットでの無償公開」



オープンコースウェア (OCW) とは？



What is MIT OpenCourseWare?
MIT OpenCourseWare is a free publication of MIT course materials that reflects almost all the undergraduate and graduate subjects taught at MIT.

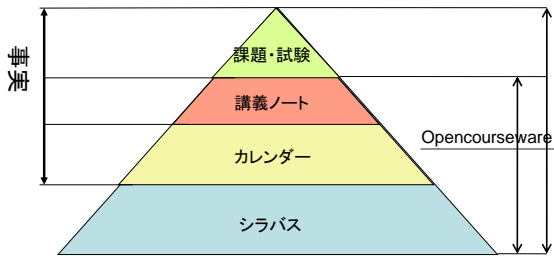
- OCW is not an MIT education.
- OCW does not grant degrees or certificates.
- OCW does not provide access to MIT faculty.
- Materials may not reflect entire content of the course.



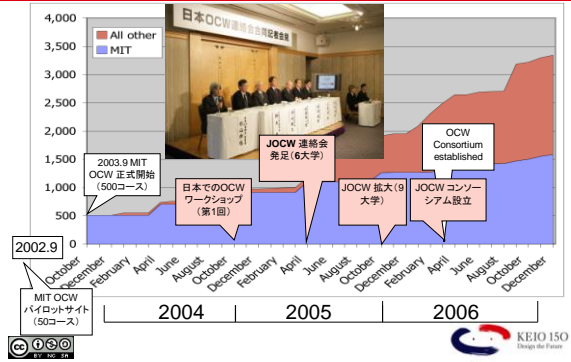
オープンコースウェア (OCW)とは？



・公開情報の定義



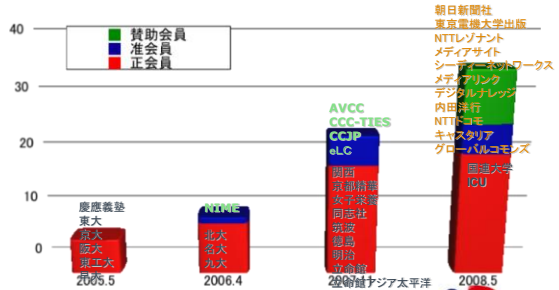
OCWの歴史と公開コース数



会員数



現在(08.7.31)の会員数: 37団体 (21大学, 5NPO, 11企業)



会員規定



会則より第5条 (会員の種類)

本会には正会員、准会員、賛助会員をおく。

正会員: 本会は学校教育法第5章で定められた大学等であって、本会の目的(第3条)に賛同し、機関全体の正式な意思決定手順を経てオープンコースウェアの活動を開始することを決定した機関を正会員とする。

准会員: オープンコースウェア活動の援助・普及に大きく関わる非営利機関であって、本会の目的(第3条)に賛同し、機関内の正式な意思決定の手順を経た機関を准会員とする。

賛助会員: オープンコースウェア活動の援助・普及に大きく関わる機関であって、本会の目的(第3条)に賛同し、機関内の正式な意思決定の手順を経た機関を賛助会員とする。

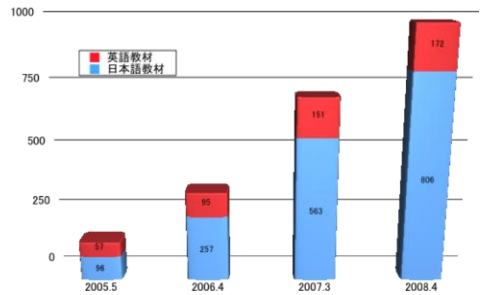


情報教育研究基金
JOCW JAPAN OCW CONSORTIUM
会員としての義務と権利

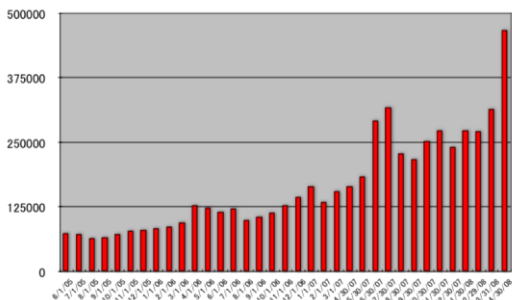
正会員: 10コース以上のOCW提供
 コース提供は英語に必ずしも拘らない
 JOCWサイトからのリンクおよび各種機能・ノウハウの提供
 賛助会員: OCW活動の真摯なサポート
 会費
 正会員: 年額 2 万円
 準会員: 年額 2 万円
 賛助会員: 年額 5 万円



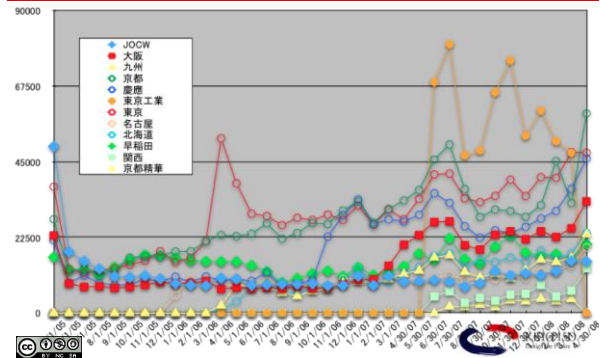
情報教育研究基金
JOCW JAPAN OCW CONSORTIUM
全公開コース数



JOCW JAPAN OCW CONSORTIUM
全OCWサイトへの訪問者数推移



JOCW JAPAN OCW CONSORTIUM
OCWサイト訪問者数: 各大学の比較



世界のOCW



- 国際コンソーシアム: 組織自立化(2008.4)
 1. 19カ国、130機関の参加
 2. 規約整備、役員体制 10人の理事選出

Institutional Board Representatives

Two Years:

- Stephen Carson - MIT (United States)
- Yoshimi Fukuhara - Keio University (Japan)
- Andy Lane - The Open University (United Kingdom)
- Phillip Schmidt - University of Western Cape (South Africa)

One Year:

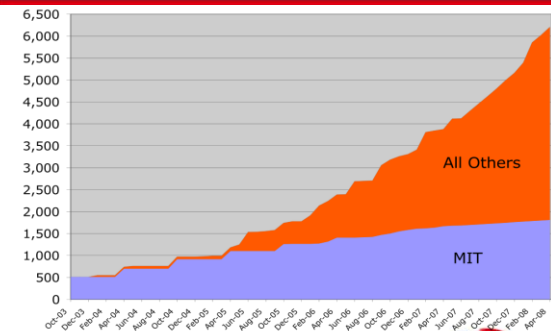
- Meena Hwang - Korea University (Republic of Korea)
- Jesus Arriaga - Universidad Politecnica de Madrid (Spain)
- Jose Escamilla - Tecnologico de Monterrey (Mexico)
- Anka Mulder - Delft University of Technology (Netherlands)

Affiliate Board Representatives

- Brandon Muramatsu - Center for Open and Sustainable Learning (United States)
- Fun-Den Wang - China Open Resources for Education (China)



OCW全世界公開コース数の推移



各国の組織的なOCWへの取り組み



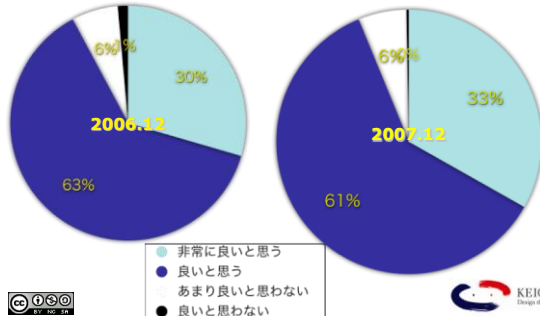
- 中国
 - CORE(China Open Resources for Education)
- スペイン
 - Universia
- 韓国
 - KOCWC
- 台湾
- ベトナム
- インドネシア など



「大学のオープン化」インターネットリサーチ結果(抜粋) (実施時期: 2006.12, 2007.12 調査人数各1000人)

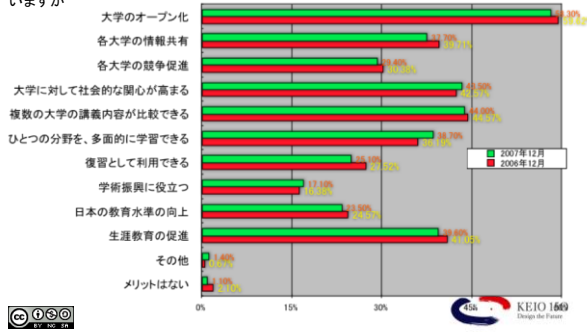


問3 各大学で行われている講義内容をインターネット上で公開することについてどのように思いますか(単位や学位には関係せず、非営利的な目的を前提とします)



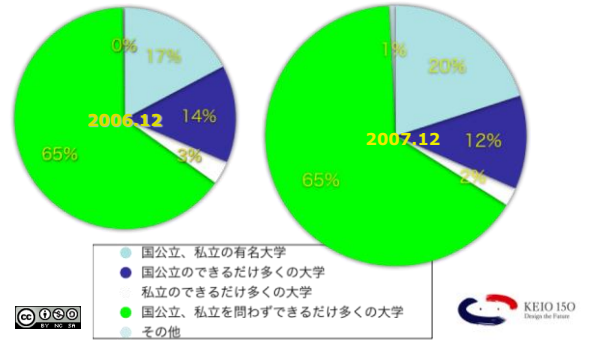
情報教育研究会
「大学のオープン化」インターネットリサーチ結果(抜粋)
(実施時期: 2006.12, 2007.12 調査人数各1000人)

問4 各大学がそれぞれの講義内容を公開することに、どのような社会的メリットがあると思いますか



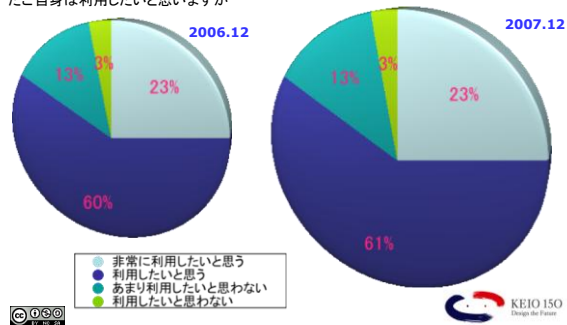
情報教育研究会
「大学のオープン化」インターネットリサーチ結果(抜粋)
(実施時期: 2006.12, 2007.12 調査人数各1000人)

問5 講義内容を公開する大学は、どのような規模が必要と思いますか



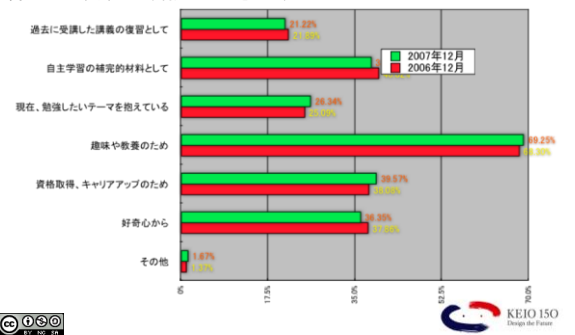
情報教育研究会
「大学のオープン化」インターネットリサーチ結果(抜粋)
(実施時期: 2006.12, 2007.12 調査人数各1000人)

問6 インターネット上で様々な大学の講義内容が見られるサイトがあった場合、あなたご自身は利用したいと思いますか



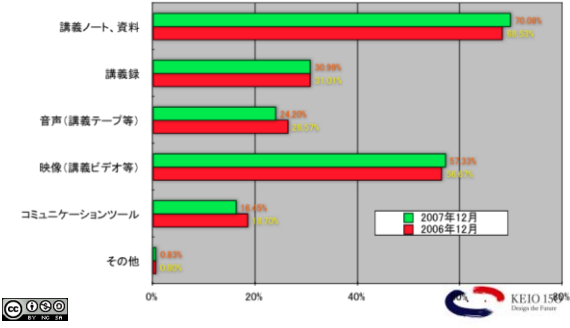
情報教育研究会
「大学のオープン化」インターネットリサーチ結果(抜粋)
(実施時期: 2006.12, 2007.12 調査人数各1000人)

問7 どのような目的で、利用したいと思いますか



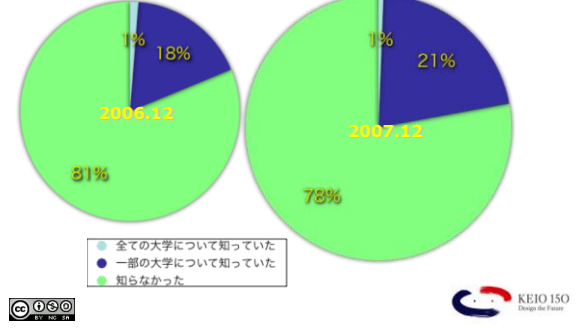
情報教育研究会
「大学のオープン化」インターネットリサーチ結果(抜粋)
(実施時期: 2006.12, 2007.12 調査人数各1000人)

問12 インターネットで大学の講義を見る場合、どのような素材がほしいと思いますか

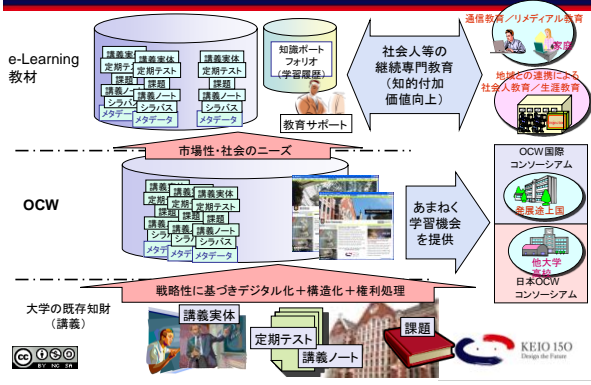


情報教育研究会
「大学のオープン化」インターネットリサーチ結果(抜粋)
(実施時期: 2006.12, 2007.12 調査人数各1000人)

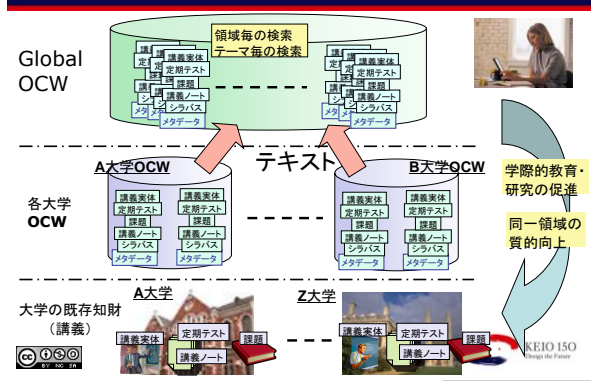
問15 以下の大学がネット上で講義を公開していることをご存知ですか



情報教育研究会2006
OCWとe-Learningの連携
(縦方向の付加価値)



情報教育研究会
組織的OCWの活用
(横方向の付加価値)





- 対内・外認知の拡大
- 財政的基盤確立
- 知的所有権処理の効率化
- コンテンツ作成・流通・管理基盤整備
- 国際交流の拡大

